

製品名: NBPF7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14429**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	NBPF7
別名	NBPF7; Putative neuroblastoma breakpoint family member 7
遺伝子 ID	343505.0
SwissProt ID	P0C2Y1
免疫原	抗血清はヒト NBPF7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

背景

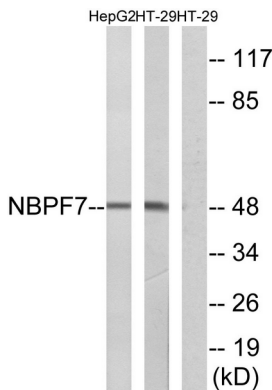
神経芽腫ブレイクポイントファミリーメンバー 7 (NBPF7) ホモサピエンス この遺伝子は、主にヒト染色体 1 上の分節重複に位置する、最近重複した数十の遺伝子からなる神経芽腫ブレイクポイントファミリー (NBPF) のメンバーです。この遺伝子ファミリーは、

ヒト系統内で最も大きく拡大し、より少ない程度ではありますが、一般的な霊長類の間でも拡大しています。この遺伝子ファミリーのメンバーは、DUF1220 タンパク質ドメインの直列反復コピーを特徴とします。ほとんどの DUF1220 ドメインが位置するヒト染色体領域 1q21.1 の遺伝子コピー数変異は、小頭症、大頭症、自閉症、統合失調症、精神遅滞、先天性心疾患、神経芽腫、先天性腎・尿路異常など、多くの発達性疾患や神経遺伝性疾患に関係していると言われています。いくつかの遺伝子ファミリーメンバーの発現変化は、いくつかの種類 of 癌と関連しています。この遺伝子ファミリーは、多種多様です：染色体 1 の p36、p12、および q21 領域にクラスター化された NBPF 遺伝子の多数のコピーの 1 つによってコードされています。類似性：NBPF ファミリーに属します。類似性：2 つの NBPF ドメインを含みます。、

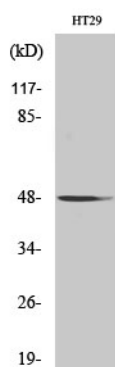
研究分野

-

画像データ



HT-29 細胞および HepG2 細胞のライセートを NBPF7 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NBPF7 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析